

議 事 録

<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開・非公開		非公開 部 分 理 由 個人情報にかかると部分			
				保存期間	30 () ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
				作成日	令和5年5月30日
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 企画振興課企画政策係
					職・氏名 主任 西村 一希 印
会議等の名称	令和5年度 第1回まちづくり審議会			開催日時	令和5年5月30日（火） 午後 6時30分～ 午後 8時20分
				場 所	本館2階全員協議会室
主催者(事務局)	企画振興課			司会者	井上企画振興部長
出席者	浅川達也、阿部貴代枝、市川努、尾芦哲、大谷美知子、小林利佳、小山岳史、重原君江、篠原博文、 花岡裕子、馬場正人、大谷美知子、羽田司、宮原則子 井上企画振興部長、岩下企画振興課長、中村生活環境課長、 大塚企画政策係長、荒井生活安全係長、笠井主査、櫻井主査、西村				
欠席者	富岡克彦				
議 題	(審議事項)		(配布資料)		
	1 市営墓地整備について		別紙会議資料のとおり		
	2 第3次東御市総合計画の策定について		別紙会議資料のとおり		
	3 令和4年度東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI実績について		別紙会議資料のとおり		
決定事項	市営合葬式墓地について、下記のとおり答申をいただいた。 「多様化する墓地に対するニーズを充分把握し、墓地の整備以外の方法も含め、前向きに検討すること」				
次回への検討事項					
次回開催	(日時) 令和5年7月		(場所)		

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
1 開会		開会
2 委員の委嘱		新規委員として尾芦哲委員（商工会）、小林利佳委員（教育委員会）、依田繁二委員（農業委員会）の3名へ市長より委嘱を行う
3 会長あいさつ	馬場会長	前回会議で説明のあった「市営墓地整備について」、また市のまちづくりの指針となる「第3次総合計画」に関する審議が始まる。加えて「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和4年度KPI実績についても審議を行う。
4 市長あいさつ 諮問	花岡市長	<p>本日の会議では「市営墓地整備について」「第3次総合計画の策定について」「令和4年度まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI実績について」審議をお願いしたい。市営墓地整備につきましては、市の考え方について諮問しますのでご審議をお願いし、答申をいただきたいと考えている。</p> <p>次に、第3次総合計画の策定については令和6年度を初年度とする次期総合計画の策定に向けた取組を進めているところである。</p> <p>過日5/25には東御市総合計画策定市民会議を組織し初めてとなる会議を開催し市民目線のご意見やご提案を参考にさせていただく中で策定作業を進めていくことを確認した。</p> <p>計画策定については、本日諮問させていただき、計画の素案をまとめていく中で継続して審議をお願いしたい。</p> <p>また、まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和4年度の実績にまとまったので口頭にて諮問し、ご審議をお願いしたい。</p>
5 審議事項 ・市営墓地整備について	中村課長 荒井係長	(市営合葬式墓地整備について説明【資料1-1、1-2】)
	委員	合葬式墓地について、どのような形で進めていく予定か。また一定期間故人の区別がつくような体系が良いのではないかと。
	中村課長	規模感や場所など現段階では具体的に決まっていない。今回は整備を進めてよいかという部分について審議をいただきたい。その後、具体的な検討を始めていきたい。また、今後についてはパブリックコメントを実施予定。その中で提言があった「東御市墓地のあり方検討委員会」へ状況等のフィードバックが必要と考えている。
	委員	個人的には慎重になるべきでないかと考える。資料内の人口推計と市営墓地の整備は相関関係があるのか疑問に感じ、世帯数を元に検討を進めるべきではないかと考える。また、墓地を公営化することで地元の個人寺院の経営に影響が出てしまうのではないかと。公営で進めることが良いことなのか不安に思う部分がある。
	中村課長	今までのアンケートや調査からニーズの変化が起り、墓地の整備は必要となってきたと考えている。「東御市墓地のあり方検討委員会」には個人寺院経営の方も参加しており、市営墓地の整備について肯定的ではある。
	委員	移住や暮らしが多様化しているということは、ニーズが増えているということである。公営として墓地の整備を進めていくのであれば、コンセプトを定めていく必要があるのではないかと考える。
	委員	首都圏ではさまざまな葬儀の仕方がある。 【資料1-2】問6からみる墓地の取得の希望について、希望しない人の割合が90%近くいることに驚いている。
	中村課長	この結果については、“新規”で取得を求める方の割合で、先祖のお墓がある方は新たに求めないという結果でもあると考えている。
	委員	個人的に同居している家族のことを考えると、30年後ぐらいから需要が出てくるのではないかと考える。 果たして5年後など短期間の間に需要があるのだろうか。

<p>・第3次総合計画の策定について</p>	委員	担い手がいなく農地が荒れてしまうことと同じように、今ある墓地を管理する人が少なく荒れてしまっているところもある。
	委員	市営合葬式墓地の整備といったハード面ではなくソフト面の整備を進めた方がよいのではと考える。 私営と市民のつなぎ役として、市の取組を行っていくのはいかがか。
	委員	年齢によって感じ方に差がある。墓地に対して若年層は意識が低く、高齢者は自分事として考えている。 また、合葬式墓地がシティプロモーションの一環として移住促進につながるのではないかと。 時期尚早と考えずに継続して取り組んでもらいたい。
	委員	周りには墓地を探している方もいる。移住者からすると墓地探しで苦労する方がいると思う。 市営墓地整備はそういった方やこれからの時代を担う人たちのためにも進める必要があるのではないかと。
	委員	今後も検討を続けることは重要であると考えます。
	岩下課長	（事務局にて答申書案を作成し、委員と読み合わせを行う。）
		（内容について意見交換し、下記にて答申） 「多様化する墓地に対するニーズを充分把握し、墓地の整備以外の方法も含め、前向きに検討すること」
	大塚係長	（第3次総合計画の策定について説明【資料2】）
	委員	意見無し
	<p>・令和4年度東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI実績について</p>	大塚係長
6 その他	大塚係長	次回開催7月予定
7 閉会		閉会